

中高生の居場所、「カタリバアダチベース」と「b-lab」を視察

2022年 6月8日



1階のリビングのような場所



1階のキッチン、毎食20食ほど作る



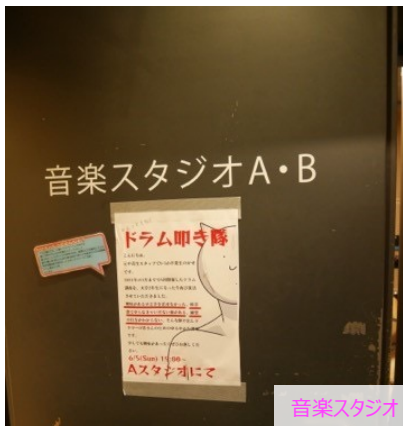
2階の自習室



施設の方と意見交換

中高生が考える新たな居場所ユースセンター「b-lab」
いつでもなんでも挑戦できる中高生の秘密基地をコンセプトにユースセンターとしてカタリバが運営を担っている施設。ユースセンターとは学校でも家でもない、ユース（若者たち、主に中高生）の“第三の居場所”。放課後や休日などの時間にユースが集い、ロールモデルとなる様々な人と出会い、いろいろなことにチャレンジしながら学びを深めていく場所。

家庭環境などの課題を抱える子どもの居場所「アダチベース」
家庭環境に課題を抱える子ども達を対象に、ありのままの自分を受け入れる居場所をつくることで“心の安全基地を届ける”そんなコンセプトでつくられた施設。ただ物理的な居場所を提供するだけでなく、**学習・体験・食事**の4つを地域と連携しながら子どもたちに届けている。足立区の委託事業として6年前からスタートし、基本的には、行政から言及のあった子ども達が利用できます。昼と放課後の2部に分けて、朝10時から午後2時までは不登校支援、放課後は体験や食事等もできる居場所になっている。



音楽スタジオ



「b-lab」には多くの中高生が集まる



広場にはバスケットゴールも設置

